

『法制時報』とは何ぞ（五訂稿）  
—法制時報社、南郊社社長小池則之とは誰ぞ—

（令和 4（2022）年 8 月 17 日（水）現在）

〔目 次〕

（補正経緯）	2
1 『法制時報』概要	1
2 『法制時報』所蔵状況	5
3 『法制時報』実見分	5
4 有光金兵衛関係箇所	7
【附録】明治警察史コーナーHP 項目一覧（抄）	7
【関連事項】	7

（補正経緯）

HP 初出：平成 22（2010）年 5 月 4 日（火）初稿作成  
平成 22（2010）年 5 月 26 日（水）改訂稿作成  
（某所 A 所蔵『法制時報』実見、初歩的検討済）  
平成 22（2010）年 6 月 3 日（木）二訂稿作成  
（法制時報社社長「小池則之」初歩的検討等 1）  
平成 22（2010）年 6 月 6 日（日）三訂稿作成  
（項目整理、法制時報社社長「小池則之」初歩的  
検討等 2）  
平成 26（2014）年 7 月 7 日（月）四訂稿作成  
（副題「法制時報社、南郊社社長小池則之とは誰ぞ」  
を追加するとともに一部補正）  
令和 4（2022）年 8 月 17 日（水）五訂稿作成  
（レイアウトを全面変更し、一部補正追加した。）

## 1 『法制時報』概要

### (1) 『法制時報』とは何か

- ・平成 22 (2010) 年 4 月某日 たまたま『法制時報』の端本を見る機会あり。
  - ・同誌は、ある号では、「法制時報は、読者の法律智識と執務上の常識とを養成することを主眼としてゐる。従つて受験一方の雑誌ではないことはいふ迄もない。」(同誌第 10 巻第 11 号〈大正 9 年 11 月 20 日刊〉巻末「編輯を終つて」) というが、警察を含めた総合受験雑誌ともいえ、戦前期警察史検討上にも意味ある雑誌か。
  - ・筑波大学大塚図書館 〈<https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/otsuka/>〉  
「法律関係雑誌略称一覧」  
〈<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/otsuka/link/lja.pdf>〉  
『法制時報』⇒ 略称: 「時報」
  - ・明治 44 (1911) 年 6 月 2 日第三種郵便物認可
  - ・(内容例示) 第 24 巻第 1 号: 昭和 8 (1933) 年 1 月 10 日刊 (毎月一回 10 日発行)
- 法制時報社: 東京市牛込区矢来町二十五番地 (大正 13 〈1924〉時点では、牛込区矢来町四番地)、発行編輯兼印刷人 小池則之
- (内容) 学説、大審院判例、法律質疑、時事問題講座、社会知識、談叢、新法令、試験情報、通信、編輯上の建言、芳名、読者の天地
- ⇒内地及び外地各官署の採用・昇進、各種資格付与、諸学校用入学等の総合受験雑誌か。 ⇒警察の各種試験にも対応

### (2) 法制時報社、南郊社とは何か

- ・法制時報社 ⇒多数の単行書も刊行、HP「日本の古本屋」でも多数掲載されている。  
〈<http://www.kosho.or.jp/public/book/aimaisearchresult.do>〉
- ・南郊社とは何か? ⇒同社も多数の単行書を刊行、HP「日本の古本屋」でも多数掲載されている。〈<http://www.kosho.or.jp/public/book/aimaisearchresult.do>〉
  - ・南郊社 (東京市牛込区矢来町二十五番地 ⇒元は四番地) は、法制時報社と同一番地
  - ・南郊社との関係如何。例えば、国立国会図書館には、南郊社の大正 10 (1921) 年以降の刊行物あり。
  - ・南郊社は、大正 15 (1926) 年 9 月に、有名な『法律春秋』を創刊 (第 1 巻第 1 号、編輯兼発行人 小池則之。第 7 巻第 1 号〈昭和 7 年 1 月刊〉で休刊。)
  - ・刊行書籍の内容に応じて、出版社 (法制時報社、南郊社) を分けていたのか。ただし、例えば、『法制時報』第 24 巻第 9 号 (昭和 9 年 9 月刊) 所載広告には、初めて「法制時報社 出版部 南郊社」とある。南郊社の位置付けに変化ありか。このあたり、更に要検討。
  - ・法制時報社、南郊社のいずれとも、何故か、例えば、『全国出版業者調』 (昭和 10 年 4 月 [内務省] 警保局図書課) には記載されておらず、これは不可思議。(平成 22 年 6 月 3 日追加)

(3) 発行編集兼印刷人 小池則之 (1883~1941) とは誰ぞ

「高橋新太郎文庫 【1925~1945年の創刊号リスト】」(通し番号 80)

<http://210.198.14.195/library/search/collection/2.html>

<http://www.noracom.co.jp/takahashi/soukangou/sk1945.html>

小池則之 ⇒ 『法律春秋』(南郊社、大正 15 (1926) 年 9 月 1 日創刊) の編集人、発行人

<http://www.noracom.co.jp/takahashi/soukangou/A-0080.jpg>

・『大正人名辞典Ⅱ 下巻』(原本: 『大衆人事録』(帝国秘密探偵社、昭和 2 年 10 月 20 日刊)。復刻版、日本図書センター、平成元年 2 月 5 日刊) コ 4 頁「小池則之」(明治 16 (1883) 年生)(平成 22 年 6 月 3、6 日追加)

「小池則之 法制時報社 南郊社各社長 友文社印刷社経営 出版業 所得税 544 東京市牛込区矢来町 4 電牛込 1055 1056 (友文社) 神田区三崎町 3 ノ 56 振替東京 18668 君は新潟県人(中略) 明治 16 [1883] 年 1 月 15 日(中略) に生れ(中略) 高田中学校を経て明治 38 年日本大学を卒業し 41 年法制時報社南郊社を創設して「法制時報」「法律春秋」「日本教育」「通信時報」等を発行し現在に至る大正 13 年友文社印刷社を譲受け現に之を経営す(中略) 家庭(中略)」

・朝日新聞「聞蔵Ⅱビジュアル」参照(平成 22 年 4 月 1 日、創刊号からの紙面を完全収録。)(平成 22 年 6 月 3 日追加) ⇒ 「小池則之」で下記 3 件検出

<http://www.asahi.com/information/db/2for1.html>

・朝日新聞(東京) 昭和 16 年 2 月 21 日(金) 朝刊第 5 面広告(小池則之 死亡広告)(昭和 16 年 2 月 19 日逝去、同 2 月 22 日告別式執行予定)(『朝日新聞(東京) 縮刷版 昭和 16 年 2 月号』(朝日新聞社、昭和 16 年 3 月 11 日刊) 217 頁)

・朝日新聞(東京) 昭和 16 年 2 月 21 日(金) 夕刊第 2 面記事(小池則之 訃報)(昭和 16 年 2 月 19 日逝去、享年 59)(『朝日新聞(東京) 縮刷版 昭和 16 年 2 月号』(朝日新聞社、昭和 16 年 3 月 11 日刊) 210 頁)

・朝日新聞(東京) 昭和 16 年 2 月 23 日(日) 夕刊第 2 面広告(小池則之 葬儀御礼)(昭和 16 年(『朝日新聞(東京) 縮刷版 昭和 16 年 2 月号』(朝日新聞社、昭和 16 年 3 月 11 日刊) 234 頁)

(4) その他

・『法制時報』第 24 巻第 1 号(昭和 9 年 1 月刊)以降に、雑誌『受験と準備 警察版』の広告掲載あり。これは、巡查部長昇進試験用の単独雑誌との由。当初旬刊(5、15、25 日刊)であったが、すぐ、月 2 回(10、25 日刊)発行に変更されている(『法制時報』第 24 巻第 3 号広告)。『受験と準備 警察版』は、かつて「ヤフーオークション」にも出品されたことがあったようであるが、現時点では、その詳細は不明(「g303 受験と準備 警察版 昭和 11 年~昭和 12 年の 17 部 - Yahoo!オークション」(平成 22 年 6 月 6 日現在では、この表題だけ確認できるのみ。)。なお、

表題はやや違うが、HP「日本の古本屋」では、「昭和 15 年 警察受験と準備 法制時報社、1940、1 水平書館 [千代田区神保町] 7,350 円」(平成 22 年 6 月 6 日現在) 1 件が掲載されている。誌名変更があったのか。

・(平成 26 年 7 月 7 日追記) 上記高橋新太郎氏 (1932~2003) 関係の「高橋新太郎文庫」の件から、ネットで同氏「集書日誌」を見るに、『彷彿月刊』平成 8 (1996) 年 3 月号掲載の「集書日誌 32 警察官受験誌の「人民戦線」」により、当時同氏が『受験と準備 警察版』昭和 9 年 10 月 25 日の第 19 号から同 14 年 12 月 15 日の第 143 号まで入手されたことが判明する。貴重なことである。

〈<http://210.198.14.195/library/search/collection/2.html>〉

〈<http://www.noracom.co.jp/takahashi/top.html>〉

〈<http://www.noracom.co.jp/takahashi/housho/shusho.html>〉

・『法制時報』第 1 巻第 7 号 (明治 44 年 11 月 28 日刊) (表紙上部に、「一法学界唯一之通俗雑誌」とある。その後も、この記載がありのときもあり。裏表紙に「法制時報の名誉賛助員」の一覧あり。「法学博士 戸水寛人」の名あり。その後も一覧ありのときもあり。社長小池則之は明治 38 年の日大卒業生であるので、当時日大の有力幹部であった戸水寛人博士 (1861~1935) とは当然面識ありか。)

・第 2 巻第 1 号 (明治 45 年 1 月 28 日刊) ~ 第 2 巻第 12 号 (大正元年 12 月 28 日刊) ⇒ 第 2 巻第 8 号 (大正元年 8 月 28 日刊。ここより大正。同年 8 月 1 日より、社務拡張により、転居とのこと。当初: 東京市牛込区弁天町四十七番地 ⇒ 東京市牛込区矢来町四番地に移転。)

・事務所移転 第 3 巻第 10 号 (大正 2 年 10 月 25 日刊。 ⇒ 牛込区北町四十一番地に移転。牛込区矢来町四番地建替のためか。)

・事務所移転 第 4 巻第 8 号 (大正 3 年 8 月 20 日刊。 ⇒ 元の牛込区矢来町四番地に新築移転。) ~ 第 18 巻第 1 号 (昭和 3 年 1 月 10 日刊。 ⇒ 牛込区矢来町四番地確認。)

・事務所移転 第 19 巻第 7 号 (昭和 4 年 7 月 10 日刊。 ⇒ 牛込区矢来町二十五番地に移転確認)

・法制時報社四大雑誌 (第 5 巻第 3 号 (大正 4 年 3 月 20 日刊) 巻末広告): 『通俗 法制時報』、『通俗司法時論』、『文官講義録』、『少年雑誌 新少年』

・第 11 (1) ~ 11 (12) (大正 10 年 1 月 ~ 大正 10 年 12 月刊) (11 (2) より毎月 1 回 10 日刊)

・南郊社雑誌『思想統制』: 22 (3) (昭和 7 (1932) 年 3 月 10 日刊) に広告あり。

#### (5) 法制時報社、南郊社のその後は何か

・法制時報社、南郊社の社長であった小池則之 (1883~1941) は、昭和 16 年 2 月 19 日に逝去 (平成 22 年 6 月 3 日追加)。

・小池則之逝去後の、南郊社刊行の書籍中、例えば、上原秋三『警察監獄職員恩給指針』(南郊社、昭和 16 年 6 月 15 日刊) には「発行者: 小池貢 東京市牛込区矢来町 25、版元: 法制時

報社、発売所: 南郊社」、薬師寺志光 (ゆきみつ) 『日本親族法論 下巻』(南郊社、昭和 17 年 7 月 18 日刊) には「発行兼印刷者: 小池貢」とある。「小池貢」とは誰か、女婿か。なお、同社最終刊行書籍は未確認である。現物未見ではあるが、nacsis webcat では、「財政学講義案 / 杉山昌作著

東京: 南郊社, 1943.6」なる昭和 18 年 6 月刊の書籍が掲載されている。

・かなりの規模の出版社であったと思われる法制時報社、南郊社が、その後どうなったのか、関心が持たれるところである。廃業したのか、戦時の企業合同で他社と合併したのか、このあたりは、今後の課題か。

## 2 『法制時報』所蔵状況

\* 国立国会図書館: 所蔵なし。

\* nacsis webcat: <<http://webcat.nii.ac.jp/>>

法制時報<ハウセイ ジホウ>. (AN00327165) . 東京: 法制時報社

所蔵図書館 8

神奈大 23 (7-12) ,30 (12) ,31 (1-3,5-6) <1933-1941>

東北大 本館 7,10 (1,3,5-6,8-12) ,23 (11-12) ,24 (1) ,25 (1-11) ,26-31<1917-1941>

同大 人研 2 (8) <1912-1912>

日大総情 13 (3-4,6,10,12) ,14,15 (1-11) ,16 (2,8,10,12) ,17 (1-2,4-11) ,18 (1-4) ,24 (4) ,  
31 (7) <1923-1941>

日大法 法 1 (4,8) ,2,3 (2-11) ,4 (1-6) ,5 (1,3-12) ,7 (4,6-12) ,8-9,10 (2-12) ,11 (9-12) ,  
12,13 (2,5,8) ,14 (2) ,15 (6,7) ,16,17 (4-6,11) ,18-20,21 (2-3,10-11) ,22 (1-4,6-10) ,  
23 (1-2,4-5,7-8) ,24-25,26 (1,3-5,12) ,27 (2-6,8-10) ,28 (5,7,11) ,29,30 (1,4,6) ,31  
<1911-1940>

法大 多図 18 (1-2,4,6-12) <1928-1928>

北大 図 16 (10,12) ,17 (5-6) <1926-1927>

明大 保 1 (7) ,2-5,6 (1-10,12) ,7 (1-10,12) ,8,9 (1-7,9-12) ,10 (1-3,5,7,9-12) ,11 (1-10,  
12) ,12,16 (7) ,17 (6,10) ,18 (1) ,19 (7,10) ,22 (1-4,6,9-12) ,23,24 (1,3-4,7,9-10) ,25  
(3-4,6) ,26 (5) ,27 (1,4-5,9,11) ,28 (2-4,6,10,12) ,29 (3,9) ,30 (1) ,31 (6) <1911-1941>

## 3 『法制時報』実見分 (某所 A 所蔵『法制時報』等)

(発行日は変更あり。毎月 1 回 20 日刊 ⇒ 毎月 1 回 10 日刊。例: 1 (7) : 第 1 巻第 7 号の意味。)

(明治 44 (1911) 年 6 月 2 日第三種郵便物認可)

- ・ 1 (7) (明治 44 年 11 月 28 日刊)
- ・ 2 (1) ~ 2 (12) (明治 45 年 1 月 ~ 大正元年 12 月刊)
- ・ 3 (1) ~ 3 (12) (大正 2 年 1 月 ~ 大正 2 年 12 月刊)
- ・ 4 (1) ~ 4 (12) (大正 3 年 1 月 ~ 大正 3 年 12 月刊)

- ・ 5 (1) ～5 (12) (大正 4 年 1 月～大正 4 年 12 月刊)
- ・ 6 (1) ～6 (12) (大正 5 年 1 月～大正 5 年 12 月刊)
  - (6 (8) 口絵 戸水寛人氏 「在野法曹の権威」 15 氏中の一人として)
- ・ 7 (1) ～7 (12) (大正 6 年 1 月～大正 6 年 12 月刊) (11 欠号)
  - (時観) 千賀鶴太郎「中立船舶の拿捕」時報 7 (7) 30 頁 (京法 12 卷 7 号の要旨)
- ・ 8 (1) ～8 (12) (大正 7 年 1 月～大正 7 年 12 月刊) (8 月号以降何故か目次なし。)
  - 8 (12) (大正 7 年 12 月 20 日刊) 53 頁 (談叢) 警視警務課長 法学士 小林光政「社会の進歩と警察官の技能」
- ・ 9 (1) ～9 (6) (大正 8 年 1 月～大正 8 年 6 月刊) (9 (7) 表紙に簡単な目次あり。)
  - (談叢) 千賀鶴太郎「宗教自由問題ニ就テ」時報 9 (8) 32 頁 (???)の要旨) (未見。9 (12) に「大正八年法制時報総目次」あり。)
- ・ 9 (7) ～9 (12) (大正 8 年 7 月～大正 8 年 12 月刊) (9 (8) 欠号・未見、9 (9) 定価改正 官公吏 10 銭 ⇒15 銭、それ以外 15 銭 ⇒20 銭、9 (9) 詳細な目次再開)
- ・ 10 (1) ～10 (12) (大正 9 年 1 月～大正 9 年 12 月刊) (10 (4)、(6)、(8) 欠号)
- ・ 11 (1) ～11 (12) (大正 10 年 1 月～大正 10 年 12 月刊) (11 (11) 欠号、11 (2) より毎月 1 回 10 日刊)
- ・ 12 (1) ～12 (12) (大正 11 (1922) 年 1 月～12 月刊)
- ・ 13 (全部欠)
- ・ 14 (1) ～14 (12) (大正 13 (1924) 年 1 月～12 月刊)
- ・ 15 (全部欠)
- ・ 16 (7) (大正 15 (1926) 年 7 月 10 日刊)
- ・ 17 (6) (昭和 2 (1927) 年 6 月 10 日刊)、17 (10) (昭和 2 (1927) 年 10 月 10 日刊)
- ・ 18 (1) (昭和 3 (1928) 年 1 月 10 日刊)
- ・ 19 (7) (昭和 4 (1929) 年 7 月 10 日刊)、19 (10) (昭和 4 (1929) 年 10 月 10 日刊)
- ・ 20 (全部欠)
- ・ 21 (全部欠)
- ・ 22 (1) ～22 (12) (昭和 7 (1932) 年 1 月 10 日刊～昭和 7 (1932) 年 12 月 10 日刊) (ただし、5、7、8 号欠。(12) に「第 22 卷総目録」あり。)
  - 田村豊「警察権の限界に対する二つの提案」時報 22 (2) (昭和 7 年 2 月 10 日刊) 86～90 頁
  - 高橋雄豺「警察力論」時報 22 (10) (昭和 7 年 10 月 10 日刊) 92～95 頁
- ・ 23 (1) ～23 (12) (昭和 8 (1933) 年 1～12 月刊)
- ・ 24 (1) ～24 (12) (昭和 9 (1934) 年 1～12 月刊)
- ・ 25 (3)、25 (4)、25 (6) (昭和 10 (1935) 年 3、4、6 月刊)
- ・ 26 (5) (昭和 11 (1936) 年 5 月 10 日刊)
- ・ 27 (1)、(4)、(5)、(9)、(11) (昭和 12 (1937) 年 1、4、5、9、11 月 10 日刊)
- ・ 28 (2)、(3)、(4)、(6)、(10)、(12) (昭和 13 (1938) 年 2、3、4、6、10、12 月 10 日刊) (12 月号に「第 28 卷総目録」あり。)
- ・ 29 (3)、(9) (昭和 14 (1939) 年 3、9 月 10 日刊)

- ・ 30 (1) (昭和 15 (1940) 年 1 月 10 日刊、三十周年記念号)  
(社長小池則之 (1883~1941)、昭和 16 年 2 月 19 日逝去)
- ・ 31 (6) (昭和 16 (1941) 年 6 月 10 日刊)  
(nacsis webcat 掲載最近号は、日大総情の第 31 巻第 7 号 (昭和 16 年 7 月刊))

#### 4 有光金兵衛関係箇所<sup>1</sup>

有光金兵衛 (警視庁属 ⇒ 第 6 巻第 8 号以降は警視庁警部) 「形式之研究」 (附録的形式、頁数は通し頁の形。)

『法制時報』 第 6 巻第 1 号 (大正 5 年 1 月 20 日刊) 1~2 頁、第 6 巻第 2 号 (大正 5 年 2 月 20 日刊) 3~6 頁、第 6 巻第 3 号 (大正 5 年 3 月 20 日刊) 7~10 頁、第 6 巻第 4 号 (大正 5 年 4 月 15 日刊) 11~14 頁、第 6 巻第 5 号 (大正 5 年 5 月 15 日刊) 15~18 頁、第 6 巻第 6 号 (大正 5 年 6 月 15 日刊) 19~22 頁、第 6 巻第 7 号 (大正 5 年 7 月 20 日刊) 23~26 頁、第 6 巻第 8 号 (大正 5 年 8 月 20 日刊) 27~30 頁、第 6 巻第 9 号 (大正 5 年 9 月 20 日刊) (掲載なし。)、第 6 巻第 10 号 (大正 5 年 10 月 20 日刊) 31~34 頁、第 6 巻第 11 号 (大正 5 年 11 月 20 日刊) (欠号のため未見。おそらく 35~38 頁)、第 6 巻第 12 号 (大正 5 年 12 月 20 日刊) 39~42 頁 (連載終了。完結か否かは不明。)

---

<sup>1</sup> 有光金兵衛につき、本 HP 別稿「有光金兵衛とは誰ぞ—「田村豊氏著作目録」補遺—」(HP 初載: 平成 21 (2009) 年 3 月 8 日初稿作成、逐次改訂中)

(<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/arimitsu.pdf>) 参照。

【附録】明治警察史コーナーHP 項目一覧（抄）（令和4（2022）年8月17日追加）

- ・「法制史学者著作目録選」中「明治警察史コーナー」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm>〉
- ・「松井茂久『警官陶冶篇』研究史抄一本 HP 収載「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』 検討資料」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui002.pdf>〉
- ・「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』（増訂三版、明治25（1892）年2月18日刊）」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui001.pdf>〉
- ・「大森鍾一『直興遺篋抄』—「長男仕官に就き与へたる訓戒の書」—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/omori001.pdf>〉
- ・「川路大警視青山墓前の頌徳碑検討一斑（碑文全文、付句読点文、書下し文）—故陸軍少将兼大警視正五位勲二等川路君墓表編修副長官従五位重野安繹撰— 明治警察史の一齣—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kawaji002.pdf>〉
- ・「佐和正関係文献抄—明治警察史の一齣—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sawatadashi.pdf>〉
- ・「坂元純瀨、國分友諒両氏の墓所について—中原英典氏のお問いかけを追って—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sakamoto001.pdf>〉
- ・「国分友諒顕彰碑について—原田弘先生のお教えに接して—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kokubukenshohi.pdf>〉
- ・「篠崎五郎関係資料抄—台湾出兵時の徴集隊指揮副長の一人— 明治警察史の一齣—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shinozaki.pdf>〉
- ・「後藤松吉郎とは誰ぞ—明治警察史・日本統治下台湾警察史の一齣—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/goto001.pdf>〉
- ・「裁判医学校乃至警視医学校関係文献一斑—明治警察史の一齣—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/saiban001.pdf>〉
- ・「『無冤録述』 検討一斑—江戸期及び明治警察史の一齣—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/muenrokujutsu.pdf>〉
- ・「続・『無冤録述』 の初歩的検討—江戸期及び明治警察史の一齣—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/muenrokujutsuzoku.pdf>〉
- ・「ヘーン大尉関係文献抄（再訂稿）」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/hoen001.pdf>〉
- ・「明治中葉警官練習所訳官久松定弘等及び筆記者井土経重（霊山） 検討一斑—明治警察史の一齣—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/yakkan.pdf>〉
- ・「岩瀬忠震関係文献抄—向島・ヘーン大尉表功碑探訪余聞—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/iwase001.pdf>〉

- ・「内務省警視局御用御書物師須原鉄二とは誰ぞ—明治警察史の一齣—」  
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/subara.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/subara.pdf)
- ・「清水書店とは何ぞや—須原鉄二との関連で—明治・大正警察史の一齣—」  
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shimizushoten.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shimizushoten.pdf)
- ・「須原鉄二と清水書店創業者葉多野太兵衛について—明治・大正期出版業史の一齣—」  
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/hatano001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/hatano001.pdf)
- ・「警察監獄学会及び『警察監獄学会雑誌』検討一斑—明治警察史の一齣—」  
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kangokugakkai.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kangokugakkai.pdf)
- ・「警眼社社主田山宗堯とは誰ぞ—『警察協会雑誌』との関連をめぐって— 明治警察史の一齣—」  
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tayama.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tayama.pdf)
- ・「松華堂乃至松華堂書店とは何ぞや—明治警察史の一齣—」  
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shokado.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shokado.pdf)
- ・「高橋雄豺博士著作目録（再訂稿）」  
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/takahashi001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/takahashi001.pdf)
- ・「田村豊氏著作目録」  
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tamura001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tamura001.pdf)
- ・「有光金兵衛とは誰ぞ—「田村豊氏著作目録」補遺—」  
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/arimitsu.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/arimitsu.pdf)
- ・「中原英典氏明治警察史研究関係著作目録抄（参考）渡辺忠威氏警察史関係文献抄」  
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakahara001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakahara001.pdf)
- ・「小林光政氏とは誰ぞ—大正・昭和戦前期警察史の一齣—」  
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kobayashimitsumasa.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kobayashimitsumasa.pdf)
- ・「内務省警保局の主 芽城鈴木千次とは誰ぞ—明治警察史の一齣—」  
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/suzukisenji.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/suzukisenji.pdf)
- ・「種村一男氏関係資料抄—昭和戦前期警察史の一齣—」  
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tanemura.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tanemura.pdf)
- ・「『警察協会雑誌』発行表」  
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keikyozasshi.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keikyozasshi.pdf)
- ・「頑鉄後藤狂夫とは誰ぞ—『警察協会雑誌』検討の一として—」  
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/gantetsu.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/gantetsu.pdf)
- ・「植木鬼仏とは誰ぞ—警察川柳史検討— 昭和戦前期警察史の一齣—」  
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ueki001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ueki001.pdf)
- ・「北京等駐在内務事務官検討一斑—昭和十年代警察講習所学友会北京支部資料等— 昭和戦前期警察史の一齣—」  
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/beijin001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/beijin001.pdf)
- ・「警察雑誌検討一斑—戦前期警察史の一齣—」  
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keisatsuzasshi.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keisatsuzasshi.pdf)

- ・『大霞』発行表  
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/taika.pdf>>
- ・『自警』発行表（戦前期）  
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/jikei001.pdf>>
- ・『警察春秋』とは何ぞ—大正・昭和戦前期警察史の一齣—  
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keisatsushunjuu.pdf>>
- ・『警務彙報』（財朝鮮警察協会刊）発行表  
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keimuihou.pdf>>
- ・『法制時報』とは何ぞ—法制時報社、南郊社社長小池則之とは誰ぞ—（本稿）  
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/houseijihou.pdf>>
- ・「奈良光枝関係資料抄—明本京静との関連で——昭和警察歌史、歌謡史の一齣—」  
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nara001.pdf>>
- ・「楠木繁夫歌「女の階級」及び上原敏関係資料抄—昭和歌謡史の一齣—」  
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kusunoki.pdf>>

\*\*\*\*\*

【関連事項】（令和 4 年 8 月 17 日追加）

- ・法制史学会: <<https://www.jalha.org/>>
- ・国立国会図書館: <<https://www.ndl.go.jp/>>
- ・国立国会図書館デジタルコレクション <<https://dl.ndl.go.jp/>>
- ・国立国会図書館個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）（令和 4（2022）年 5 月 19 日開始）  
 <[https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital\\_transmission/individuals\\_index.html](https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html)>
- ・国立国会図書館次世代デジタルライブラリー  
 <<https://lab.ndl.go.jp/service/tsugidigi/>>
- ・CiNii: <<https://ci.nii.ac.jp/>> ⇒ <<https://cir.nii.ac.jp/>>（【[2022] 4/18 更新】CiNii Articles の CiNii Research への統合について）、<<https://ci.nii.ac.jp/books/>>

（了）